

港湾振興便り



2021. 2

第165号

:

目 次

:

1 ポートエッセイ — 港繁栄の歴史を現代に生かす —
～ 日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 中原 八一 ～

2 トピック

●アマモに東京湾再生の願いを込めて
(関東地方整備局 港湾空港部)

●浜田港利用者懇談会を開催しました！ ～利用者の声を聞き、港の利便性を向上していきます～
中国地方国際物流戦略チーム 事務局
(中国地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室)

3 お知らせ

◇イベント名:金沢みなとのてんらんかい

:~

1 ポートエッセイ
— 港繁栄の歴史を現代に生かす —
～ 日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 中原 八一 ～

::*:*:*:*:*:*~

言うまでもなく、我が国の多くの港湾と、その後背地の都市や産業の形成・発展については密接な関係があり、各地の港の歴史的な背景を知るとは非常に興味深い。今回は私の地元新潟の港とまちづくりについて紹介したい。

今の新潟市の原型は江戸時代に遡り、当時の新潟のまちの都市機能の中心は、年貢米や商人米などコメの集散地機能だった。新潟湊からは主にコメが千石船で日本海を渡り、上方や敦賀、松前に運ばれ、逆に各地からは、木綿や塩、昆布などが入荷され大いに賑わったのだが、新潟湊が拠点性を高めることができた重要な要因は、信濃川、阿賀野川など大小河川を介して背後の村々と広大なネットワークを結んでいたことだ。かつては中之口川や西川などの中小河川と、街中に張りめぐらされた堀

割が網の目のように組み合わせあって「みなとまち新潟」の発展を支えていた。

交通の要衝であった新潟湊では、廻船問屋の豪商が店を並べ、また、周辺の村々には1千町歩を超える全国屈指の大地主が何軒もあった。そうした豊かな経済を生みだした構造基盤こそが、新潟湊と周辺の田園地域を結んだ物資往来の舟運ネットワークであった。新潟湊と田園地域は、「小河川」と「堀割」によって繋がっており、現在の新潟市に置き換えると、北区から西蒲区までの市内全8区となる。そして、この近世において成功した都市発展の構図は、時代を超えて現代でも脈々と生きていると考えている。

この度、新潟市では、ウィズコロナ・ポストコロナ時代を見据え、市の明るい未来を切り拓くため、これから進めるべきまちづくりの方向性とビジョンを示す「選ばれる都市 新潟市」(新潟市HP参照)を作成した。新潟市が持つ都市部と田園地域が共存する優位性を活かし、都市の拠点性を高めることで、暮らしやすさのさらなる向上につなげる好循環を創り出していきたいと考えている。

現在、新潟市では、約60年ぶりとなる新潟駅のリニューアルをはじめ、万代、古町を結ぶ「都心軸」が大きく進化する「まちの転換期」を迎えている。今後、この新たな都心軸への集積が期待されるIT事業者などと、本市の強みである「食」と「農」に関連する事業者、農業者などが、この都市と田園のネットワークによって結びつくことで化学反応を起こし、新たな技術革新、販路拡大につなげ、「暮らしやすい」「訪れたい」「ビジネスを展開したい」まちとして「選ばれる新潟市」となるようしっかりとアピールしていきたいと考えている。

:

2 トピック

*:**

●アマモに東京湾再生の願いを込めて

(関東地方整備局 港湾空港部)

12月25日(金)のクリスマスに、サンタクロースに扮した横浜市立金沢小学校と横浜市立みなとみらい本町小学校の生徒たちから、関東地方整備局にアマモの種が届けられました。

今年は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、参加者及び関係者はマスクを着用し、プログラムの一部をオンラインで実施しました。



関東地方整備局へ届けられたアマモの種

横浜市立金沢小学校では、「金沢八景—東京湾アマモ場再生会議」とともに野島公園や金沢区海の公園などでのアマモ場再生活動に熱心に取り組んでおり、自分達で採取したアマモの種で「東京湾を海の生き物でいっぱいにして欲しい」との願いを込め、「アマモメッセンジャー(アマモに東京湾再生

の願いを込める者)」として、平成19年から毎年アマモの種を届けており、今回で14回目を迎えます。



オンラインで参加した横浜市立金沢小学校の生徒たちと会場の様子

アマモ場は、「海のゆりかご」とも呼ばれ、魚類などの産卵場、成育場として重要な役割を果たしており、最近では陸上で排出された二酸化炭素を吸収するブルーカーボンの代表として、温暖化対策の観点からも注目されています。



横浜市みなとみらい元町小学校の生徒による発表

関東地方整備局では、持続した価値ある取り組みとして活躍する子供達に感謝し、この届けられた種を東京湾再生への活動の輪として大きく育ててまいります。

● 浜田港利用者懇談会を開催しました！ ～利用者の声を聞き、港の利便性を向上していきます～

中国地方国際物流戦略チーム 事務局
(中国地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室)

中国地方国際物流戦略チームでは、産業競争力強化のための物流の連携強化、生産性向上及び物流ネットワークの強靱化に向けて取り組んでおり、その取り組みの一つとして、港湾利用者の方々の物流全般に関するニーズを把握するために、浜田港利用者懇談会を令和2年12月24日にオンラインで開催しました。

懇談会での主な意見として、国際定期コンテナ航路について、既存航路(韓国:2便/週)の安定利用や利便性向上(既存航路増便や新規航路開設)を望む意見や、新たな企業誘致策や港の利用促進に資する支援策の充実、福井埠頭の新規岸壁整備について早期の事業化、長浜地区～福井地区間及び国道9号までのアクセス強化の他、山陰道の早期全線開通、内航定期航路の就航等を望む意見がありました。なお、各企業より頂いた意見については、関係する行政関係者等より回答を行いました。

中国地方国際物流戦略チームでは、今後の港湾の機能改善や政策提言等に活かすため、引き続き各港において利用者懇談会を開催してまいります。

○中国地方国際物流戦略チーム HP : <http://www.pa.cgr.mlit.go.jp/kokusai/index.html>

○中国地方整備局記者発表資料 : http://www.pa.cgr.mlit.go.jp/pdf/press_hk_210122.pdf



開催状況

(参加者：地元企業 11 社、有識者、経済団体、行政関係者＜整備局、中国運輸局、島根県、浜田市＞)

:

3 お知らせ

:

◇イベント名：金沢みなとのてんらんかい

主催：金沢港おもてなしクラブ

後援：金沢みなと懇話会、金沢港湾・空港整備事務所、石川県港湾漁港建設協会、
北國新聞社、石川テレビ、鞍月校下町会連合会、大野町町会連合会、大徳地区連合
町会、粟崎校下町会連合会、金石町校下町会連合会

協力：海と日本のプロジェクト in 石川実行委員会

【開催日時】令和3年2月27日(土)～令和3年3月4日(木)

【場 所】金沢港クルーズターミナル CIQ エリア

【概 要】地元小学生が「あなたの大好きな金沢港」、「未来の金沢港」をテーマにスケッチした作品を
展示いたします。2月27日(土)には金沢港の歴史や役割等について学べるパネル展
示や海に関するクイズ大会等が同時開催されます。

【問合せ先】金沢港湾・空港整備事務所(076-267-2241)

【 U R L 】 <http://www.kanazawa.pa.hrr.mlit.go.jp/247/3379/>

